

APAC (アジア製薬団体連携会議)



<https://apac-asia.com/>

ミッション

「革新的な医薬品をアジアの人々に速やかに届ける」

参加国 (協会)

11エコノミー13協会 日本(JPMA)/中国(RDPAC/PhIRDA)/台湾(IRPMA)/香港(HKAPI)/韓国(KRPIA・KPBMA)/インド(OPPI)/ インドネシア(IPMG)/フィリピン(PHAP)/タイ(PReMA)/マレーシア(PhAMA)/シンガポール(SAPI)

APAC 10年のあゆみ

製薬協 (日本) がIFPMA加盟のアジア各国製薬団体に呼び掛け国際会議/レセプションを開催。以降、毎年4月開催@東京

第1回 (2012年)

第6回 (2017年)
第9回ARC*と併催。
PIC/S会長も登壇。薬事規制許認可・創薬連携・新薬アクセスの3部構成。

第8回 (2019年)
新たにVBH** セッション組入れ。当局協働の下、二国間会合、第2回アジアネットワーク会合、FIRMによる再生医療国際会議を一挙連続開催。

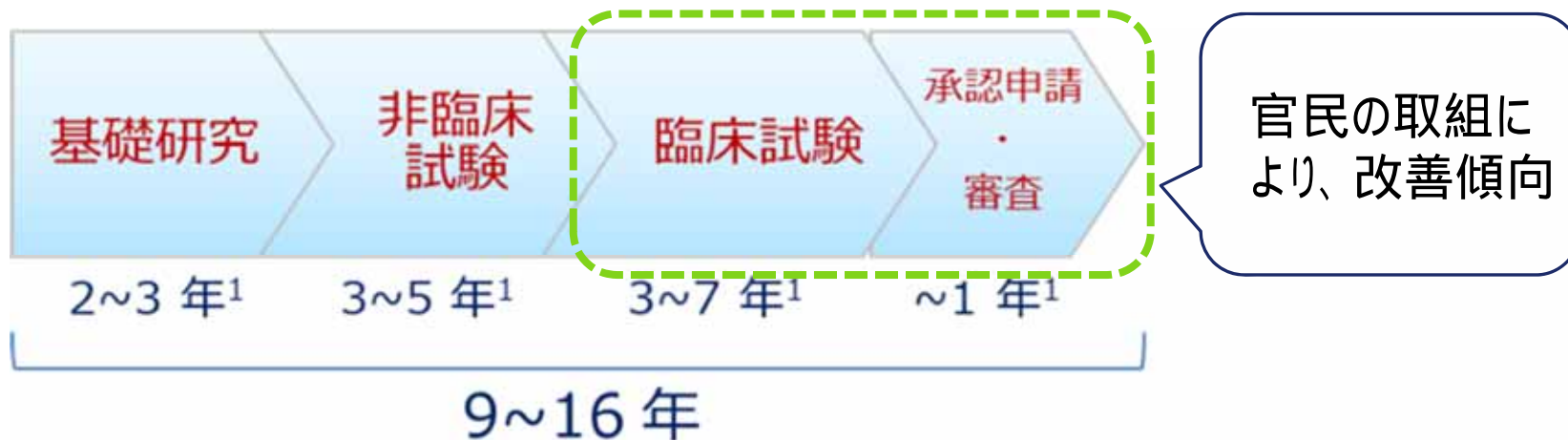
第9回 (2020年)
COVID-19禍でも、アジア製薬団体総会をWEB開催。カンファランス未開催。

第10回 (2021年)
APAC (WEB) 会議
開催予定。

*ARC:Asia Regulatory Conference
**VBH : Value-based Healthcare

アジア諸国における承認申請と薬価収載の課題

新医薬品の研究開発プロセス



1. 日本製薬工業協会 てきすとぶっく製薬産業 2018-2019

新医薬品の薬価算定プロセス（日本）



中医協公表資料より改変